

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

平成22年12月1日

120号

編集・発行：愛知県農業会議

平成22年度農政・農地主任者合同ブロック会議が開催されました。

11月1日から2日にかけて京都市内の「京都府立ゼミナールハウス」において、全国農業会議所主催の平成22年度農政・農地主任者合同ブロック会議が開催されました。

この会議の検討課題として、平成23年度農林・農業委員会関係予算の概要と確保に向けた取り組みについて、農地制度実施円滑化事業費補助金の活用と要綱・要領の見直しについて、改正農地法等の施行を踏まえた適正な執行について、新たな組織運動(案)と農業委員会組織活動改革プログラム(案)についての報告と協議が行われました。

この中で、今年度が最終年度となる「新・農地と担い手を守り活かす運動」から来年度、新たな農地制度の適正執行と農業委員会活動の強化を目指して「地域の農地と担い手を守り活かす運動」に衣替えして推進していくこととし、来年2月の都道府県農業会議会長会議で最終決定の方向で検討していくと報告がありました。

2日目は、新たな農地制度の現場における運用の事例報告と課題等をテーマに、京都府京丹後市農業委員会から「京丹後市における耕作放棄地対策について」を、京都府亀岡市農業委員会と「遊休農地対策の推進について」を具体的な事例を交えて報告がありました。

常任会議員会議(11月)の審議状況について

11月16日に「愛知県白壁庁舎」において、農地法等に係る愛知県知事からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

11月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案17件(平成21年11月30件)、12,115㎡(同15,255㎡)、同法5条に基づく転用事案220件(同226件)、128,186㎡(同275,500㎡)、農

業振興地域の整備に関する法律第15条の2に基づく許可申請及び農業経営基盤強化促進法第5条第5項に基づく基本方針の策定についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

事務局長からは、E P A / F T A交渉の経過と対応(T P P中心に)についての配付資料に基づいて、我が国のE P A / F T A交渉の進捗状況、T P Pの議論経過状況、農業委員会系統組織としての今後の対応について報告をしました。

第5回あいちアグリアワード表彰式が行われました。

11月16日に名古屋市東区内の「メルパルクNAGOYA」において、(財)愛知県農業振興基金主催の第5回あいちアグリアワード表彰式が行われました。

この顕彰事業は、半世紀余り続いた山崎賞、岩槻賞を継承し、愛知県農業の振興に尽力を頂いた方の功績をたたえるものであり、担い手育成部門で谷澤 隆氏(豊田市)、技術改善部門で棚橋 誠氏(愛西市)、農業・振興部門で大島 千恵子氏(一宮市)及び早川 利之氏(春日井市)がそれぞれ受賞されました。

表彰伝達式の後、愛知県農協中央会の倉内会長から来賓祝辞され、4人の受賞者から受賞に至った活動状況等についての記念講演をされました。

平成22年度農政・担い手主任者合同中日本ブロック会議が開催されました。

11月24日から25日にかけて岐阜市の「ホテルパーク」において、全国農業会議所主催の農政・担い手主任者合同中日本ブロック会議が開催されました。これは昨年度の事業仕分けにおいて、担い手対策に係る国の予算が計上されなかったことから、都道府県担い手対策協議会の活動状況を掌握するために3ブロックに分けて開催され、中日本ブロックとして中部・関西等の農業会議の担当者が出席して開催されました。

会議では、当面の農政課題について全国農業会議所から報告があった後、担い手・経営対策について各府県から現在の取組状況についての報告があり、その後、活発な意見交換が行われました。

平成22年度下期全国農業図書中日本ブロック会議が開催されました。

11月25日から26日にかけて名古屋市中村区の「名鉄ニューグランドホテル」において、全国農業会議所主催の平成22年度下期全国農業図書中日本ブロック会議が開催され、東海、近畿、北陸など18都府県の事務局長など38名が参加されました。

会議では、平成22年度上期出版事業の実施状況についての説明を受けた後、協議事

項として、(1)平成22年度下期刊行計画、(2)平成22年度下期普及対策、(3)定期刊行物(「のうねん」「iju info」)の普及等、(4)全国農業図書規程の改正についてを全国農業会議所からの説明報告の後、質疑を行われました。

その後、参加都府県からアンケート調査(今年度の取扱見込額、農地制度実施円滑化事業費補助金の内容等)についての報告と意見交換が行われました。

平成22年度農業者年金加入推進特別研修会を開催しました。

11月29日から30日にかけて幡豆郡幡豆町の「グリーンホテル三ヶ根」において、豊橋市・田原市の農業委員及び職員等約70名の出席をいただき、独立行政法人農業者年金基金との共催により農業者年金加入推進特別研修会を開催しました。

この研修は、農業者の老後生活の安定・福祉の向上を図るための公的年金制度である農業者年金の普及・推進を加速化するために、重点対象市町村である豊橋市、田原市の農業委員等に農業者年金制度について学んでいただくため、農業者年金制度の目的、制度の変遷、新制度の仕組み、「3カ年計画」の取組について、加入推進の進め方について、基礎的な研修と加入推進の具体的手法等の研修を行いました。

今後の主な行事予定

- 12月 1日 農業者年金加入推進セミナー(東京・浅草ビューホテル)
- 12月 2日 平成22年度全国農業委員会会長代表者集会(東京・九段会館)
- 12月 8日 女性農業委員特別研修会(アイリス愛知)
- 12月9・10日 第20回東海・近畿・福井ブロック稲作経営者研究大会(蒲郡市)
- 12月10日 東海4県事務局長会議(静岡市)
- 12月15日 常任会議員会議(白壁庁舎)
- 12月16日 農業委員会職員等研修会(アイリス愛知)
- 12月17日 愛知県農林畜産物品評会(熱田神宮会館)
- 1月18日 常任会議員会議(白壁庁舎)

新刊図書(全国農業会議所)

- ・ 女性で生きる農業委員会 (22-38) 単価 500円 12月2日刊行
- ・ 農業委員会法の解説 改訂8版 (22-32) 単価 3,000円 12月13日刊行
- ・ 農業委員選挙の手引 改訂14版 (22-33) 単価 3,000円 12月下旬頃刊行
- ・ 農業委員選挙Q & A 改訂2版 (22-34) 単価 400円 12月下旬頃刊行